

私たちが体験しました！

家に幅広いジャンルの本がたくさんあって小さい頃から読書が好きなので、製本も面白そうだと思います。



中学2年生  
濱野 凧さん



中学2年生  
二宮大徳さん

前から仕事図鑑に興味がありました。漫画から文庫本までいろいろなお本が好きなので、製本に挑戦します。

### 体験スタート！

## 仕事 1 製本の注文と相談

まずはお客さまにオーダーシートを書いていただき、どういう思いでどんな本を作りたいのかをよく伺います。そして素材や構造について、具体的に決めていきます。



本ってこういう  
つくりなんだ



- ▲ 選ぶ素材やデザインによって出来上がりはさまざまです。
- ▲ ページの綴じ方や背の形など、構造についても相談します。



- ▲ 布や革を貼った素材の見本帳とオーダーシート。

二宮さん ● 手製本で一冊を作るのに、どのぐらい時間がかかりますか？  
本間さん ● 構造にもよりますが、例えばハードカバーで布張りのシンプルな本で少なくとも7〜8時間です。機械で作る本に比べたらすごく時間がかかるし、これが革張りになったりデザインが入ったりするとさらに時間がかかります。

読書が好きだけでなく、モノとしての本が好きなお客さまが多いです。手製本で本と人との関係が豊かになることを伝えたいと思っています。

店主  
本間あずささん



# むさしの 仕事図鑑

中学生記者が  
仕事を体験します！

## 製本家

ってどんなお仕事？

書店で売られている本は、工場で大量に製本されたものです。しかし製本家はデザインや素材などにこだわり、手作業で「自分だけの特別な一冊」を仕立てます。

## 空想製本屋

(境南町)

都内の工房で手製本を学び、スイス・アスコナの製本学校にも通った本間あずささんが構えるアトリエ。少数の詩集や歌集、写真集などのオーダーメイド手製本と、大事な本を好みの装いに変える仕立て直しを行っています。ほかに製本教室やワークショップなど、多彩な活動を展開中です。

電話：0422-31-5950  
営業時間：午前10時～午後5時(要予約)  
定休日：日・月曜日  
<http://honno-aida.com>  
[info@honno-aida.com](mailto:info@honno-aida.com)



## 仕事 4 表紙づくり

背に補強用の紙を貼り、しおりや装飾用の花ぎれをつけて表紙を作ります。ポール紙に布や革を貼って表裏と背の表紙を作り、見返しという紙で本体と接着したら完成です。

何度も切るうちにずれてきそう！



▶ ポール紙は厚いので、カットで何度も同じ場所に切れ目を入れてきれいに切ります。

▶ 布や革を貼るときには空気が入らないように気をつけ、折り返しは紙で巻き込んでヘラを使ってしっかり貼り合わせます。



## 感想

背の丸み出しが難しかったです。おじいちゃんの画集や家族の写真集などを作れたらいいな、と思いました。



これまで知らなかった手製本について知り、やり方も教わって楽しかったです。文庫本に表紙をつけてみたいと思います。



## 仕事 2 ページを丁寧に折る

表裏に8ページ分印刷された紙を、角を合わせながらきっちり折ります。この折った紙をおりちよう折丁と呼びます。



▶ 印刷に使う紙は、たくさんサンプルの中から選びます。



▶ 紙の輪の真ん中あたりにヘラを当て、上下に動かして折り目をつけます。

## 仕事 3 折丁を綴じて背に丸みを出す

複数の折丁を麻糸で綴じ、一冊にします。綴じた背の部分は糸で厚くなるので、背に丸みをつけ厚さを揃えます。

▶ 糸が針から抜けないよう、糸を割るように針で2回刺します。



きれいに丸みを出すのって難しい！

▶ 糸を通す場所には穴をあけておき、折丁を一つずつ重ねながら綴じていきます。

▶ 背にのりをつけた後プレス機で挟み、金づちでたたいて丸みを出します。



二宮さん ● 本を作るときに、一番大切にしていることは何ですか？  
本間さん ● 手で一冊ずつ作るからこ  
そでできることを、丁寧にやるという  
ことです。量産された本は世の中にあ  
ふれているので、それと同じこと  
をやっても意味がないですよ。  
だから手製本ならではの構造を用  
いたり、布をそのまま使うのではな  
く染めてみたりして、お客さまの想  
いに応えたいと思います。  
二宮さん・濱野さん ● ありがとうございます。

濱野さん ● 箱に入っている本とそうでない本では、何か違いがあるのですか？  
本間さん ● 最近は書店で売っている本にはほとんど箱がついていません。手製本ではお客さまのご希望に応じて作っていますが、革張りなどの格の高い本には箱を合わせることも多いです。  
濱野さん ● 僕が持ってきた本を布装のハードカバーに手製本するとしたら、いくらぐらいでできますか？  
本間さん ● この本はページ数が多いから……、3万円台後半になってしまいかもしれませんね。どうしても手間がかかるので。  
二宮さん ● 本を作るときに、一番大切にしていることは何ですか？